



鳥獣被害対策の講習会を紹介

野ネズミ対策講習会

近年、野ネズミによる被害報告が多く寄せられていることから、野ネズミ駆除の技術普及のための講習会および殺鼠剤の配布を実施します。

- ▶日時 9月26日(火) 13時30分～
- ▶場所 参加者決定後、お知らせします。
- ▶参加条件
 - ・花き栽培を行っている農家
 - ・効果検証のために今年度、次年度の被害状況の報告が可能な人
- ▶申込期限 9月15日(金)まで



特定外来生物対策事業講習会

アライグマによる被害が数多く発生していることから、町内の生活環境改善を目的とした特定外来生物(アライグマ)対策事業を実施します。

- ▶日時 9月29日(金) 9時～
 - ▶場所 浪江町役場2階 中会議室
 - ▶定員 先着20人
 - ▶申込期限 9月22日(金)まで
 - ▶報奨金 1頭あたり3,000円
- ※参加者の所有地および所有者から許可を得た土地(ともに避難指示解除区域のみ)でアライグマを捕獲した場合に支払います。
※本事業に参加するには、昨年度参加の有無を問わず、本講習会に必ず出席する必要があります。



農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与(出荷を目的とした農地に限る)

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



INTERVIEW

みんなの鳥獣対策

鳥獣被害は減ったのか？
浪江町鳥獣対策の今をお知らせします。



■イノシシ被害と対策の効果

令和4年度以降、イノシシの捕獲頭数が減少するとともに、被害報告も大きく減少しています。捕獲隊が大型のメス個体を多く捕獲したことや、町民の皆さんの丁寧な鳥獣対策の効果が大きく、そのほかにも豚熱の蔓延が影響していると考えられます。今回は皆さんの鳥獣対策とイノシシの出没状況とその被害を調査をしました。

イノシシ捕獲の実績 (捕獲隊)

成獣※	オス	メス
令和3年	66	82
令和4年	11	13

※生殖可能な20kg以上の個体



【鳥獣被害の様子と対策について教えてください】
帰還直後は、イノシシが住宅街の空き家に住みつく、進入するという被害が多かったです。そのため、空き家にエサとなるごみを置かないよう呼びかけました。そのほかにも、開閉式のゴミ置き場に換え、鳥獣の被害が減るようにしました。今後も住み続けられる町を目指して、地域づくりと鳥獣対策を継続していきたいです。



佐藤 秀三さん (権現堂) 行政区会長

【農林水産課から一言】
イノシシの個体数が減少した状態を維持できるように、そして、より生活しやすい環境を目指して対策していきます。

■鳥獣被害の様子と対策について教えてください

令和2～3年頃までは畦畔の掘り起こし被害が多くありましたが、今年は被害にあっていません。掘り起こし被害のため営農が大変でしたので、電気柵を設置して鳥獣対策を行っています。また、道路が整備されたことや、人が増えてきたことも影響しているのか、イノシシを見ることもなくなりました。これからも農業を続けて、ほかの地域の人が来られるような環境にしていきたいです。



前田 一石さん (北棚畑) 水稲とデントコーンを栽培



有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。



農林水産課農林水産係
0240(34)0246